

## 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

### 1. 平成17年4月から9月までの全体的な進捗状況及びそれに対する評価

当組合は「リレーションシップバンキングの機能強化計画」の成果と課題を踏まえ、「地域密着型金融推進計画」の開始期間となる17年度上半期において、「事業再生・中小企業金融の円滑化」への取組、「経営力の強化」への取組、「地域の利用者の利便性向上」への取組を展開してきました。

この結果、「地域密着型金融推進計画」の各種取組において一定の前進がみられましたが、さらに具体的な成果を結実させることが求められております。

今後も、「地域密着型金融推進計画」において「事業再生・中小企業金融の円滑化」をはじめとした取組を全組合的な重要課題と捉え、本計画に定められた諸施策を着実に遂行してまいります。

### 2. 「地域密着型金融推進計画」に基づく個別の取組みの進捗状況

項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況 (17年4月～9月)	備考
		17年度	18年度		
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化					
(1) 創業・新事業支援機能等の強化	組合の支援姿勢醸成 / 新商品開発 / 情報収集し顧客へ提供	新商品開発取扱開始 / 情報収集し顧客へ提供 / 創業、資金に関する相談、融資に取組む	商品性見直し / 情報収集し顧客へ提供 / 創業、資金に関する相談、融資に取組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支店長会議にて、地域密着型金融推進計画に基づいた中小企業支援、創業時の積極的な事業サポートなど当組合の取組方針を伝達した。</li> <li>・創業支援に対応する商品性の開発に着手し、他金融機関の商品性や当組合顧客の資金需要等を勘案し、原案を作成した。</li> <li>・平成17年6月24日の産業クラスターサポート会議に2名参加し、新事業に関する情報を収集した。</li> <li>・中小企業支援に関する情報として中小企業庁発行の「中小企業施策利用ガイドブック」やリーフレット等を全店舗へ配布し、中小企業支援の制度等に関する情報を提供した。</li> <li>・中小企業支援センターの活動に関する情報をインターネット及び各種資料等などから収集した。</li> <li>・顧客への訪問面談活動を積極的に展開し、新規事業等に関する情報収集を実施し、新事業の資金需要に対応した。</li> </ul>	創業・新規事業融資実績 先数 : 5 融資実行額 : 595 百万円

項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況 (17年4月～9月)	備考
		17年度	18年度		
(2)取引先企業に対する経営相談・支援機能強化	各種会義等参加し情報を提供/経営改善策を顧客と取組/顧客ランクの取りまとめ/研修会参加、資格を取得しレベル向上	各種会義等参加し情報収集/顧客訪問実施し経営改善策構築/顧客ランクの取りまとめ/研修会参加、資格を取得しレベル向上/内部研修実施	各種会義等参加し情報収集/顧客訪問実施し経営改善策構築/顧客ランクの取りまとめ/研修会参加、資格を取得しレベル向上/内部研修実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年7月15日審査事務担当者研修会(全信組連)1名参加。</li> <li>経営改善、企業再生、回収処理のための体制整備として、平成17年5月に「債権管理回収プロジェクト」(最高責任者 理事長、担当役員 常勤理事2名、担当部署 管理部7名)を設置し、プロジェクト及び営業店による訪問面談活動を開始した。</li> <li>審査部においても、審査業務を通じた経営改善指導を強化するとともに、審査部と営業店による債務者対応等の協議を実施した。</li> </ul>	<p>経営支援選定による選定</p> <p>要注意：16 / 要管理：27 破綻懸念先：3 実質破綻先：1 計 47</p>
(3)事業再生に向けた積極的取組み	事業再生の手法分析/担当税理士等と連携し適合した再生を行う/外部機関の専門家等を活用する	再生支援に関する情報収集/再生支援方法の研究/再生支援先の対象選定、実施	再生支援に関する情報収集/再生支援方法の研究/再生支援先の対象選定、実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業再生、回収処理のための体制整備として、平成17年5月に「債権管理回収プロジェクト」(最高責任者 理事長、担当役員 常勤理事2名、担当部署 管理部7名)を設置し、プロジェクト及び営業店による訪問活動を開始した。</li> <li>事業再生に関する資料として中小企業庁発行の「中小企業施策利用ガイドブック」やリーフレット等を全店舗へ配布し、事業再生の制度等の情報を提供した。</li> <li>中小企業再生支援協議会の活動に関する情報をインターネット及び各種資料などから収集した。</li> <li>債務者の再生、経営改善等に関する事案を当組合の会計士等へ相談した。</li> <li>再生支援先の対象選定した。</li> </ul>	<p>再生支援先対象選定</p> <p>破綻懸念先：24 実質破綻先：2 計 26</p>

項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況 (17年4月~9月)	備考
		17年度	18年度		
(4)担保・保証に過度に依存しない融資の推進等 担保・保証に過度に依存しない融資の推進	キャッシュフローを重視した審査手法取入 / 信用リスク管理システムの構築を目指す / 既存商品性の改良	顧客財務管理強化 / 信用リスク管理システムの情報収集 / 既存商品の改良着手	顧客財務管理強化 / 信用リスク管理システムの情報収集 / 既存商品の改良実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・債務者の財務内容を分析する資料として平成17年4月26日にキャッシュフロー計算書を導入し、審査及び自己査定に関連資料とした。</li> <li>・信用リスク管理システム機能の拡充として、不動産担保評価システムの導入準備に取組む。</li> <li>・不動産担保評価システムの導入に合わせ、既存の不動産担保の評価方法の見直しを実施した。</li> <li>・大口先の現況把握を図るための資料として、四半期毎に債務者概況表、決算分析資料等を作成し事業動向、決算状況の確認を実施した。</li> <li>・信用リスク管理に関する情報収集として、総合リスク管理研修会(平成17年8月全信中協)への参加(1名)や各種関係機関からの情報資料等により、信用リスク管理手法の研究に取組む。</li> <li>・ビジネスサポートローンの延滞状況及び事故発生等の分析を実施したところ、履行状況等に問題がないレベルであった。</li> </ul>	
(4)担保・保証に過度に依存しない融資の推進等 中小企業の資金調達手法の多様化等	多種多様な資金調達手法の導入に向けた研究、準備に取組む	融資取組事例等の情報を収集し分析に取組む	融資取組事例等の情報を収集し分析に取組み、組合取引に適合した融資手法の準備に取組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他信用組合の取組事例情報の該当がなく、情報が乏しい状況にある。</li> <li>・引き続き関係各機関からの情報入手に努める。(全信中協、他金融機関等)</li> </ul>	
(5)顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	事務指導強化 / 取扱要領見直し実施 / 苦情等事例の原因を分析し店舗へ還元	説明責任事務見直しに伴う情報収集 / 苦情等の発生原因分析 / 苦情等事例の原因を分析し店舗へ還元 / 説明責任事務改善指導	苦情等事例の原因を分析し店舗へ還元 / 説明責任事務改善指導 / 事務取扱要領の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨店検査時に審査部担当者が同行し、説明責任事務に関する点検、指導を実施した。</li> <li>・四半期ごとに契約書(写し)の交付状況を確認するとともに、説明責任事務見直しに関する店舗からの意見等を収集した。</li> <li>・信用組約約定書等の改定に着手し、双方署名方式導入に向けた協議を実施した。</li> <li>・相談苦情処理要綱に準じ苦情・要望記録書が各営業店から本部へ提出され、苦情等に対応した。</li> <li>・上半期の苦情・要望等の事例と原因等を取りまとめ、支店長会議において周知徹底した。</li> </ul>	

項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況 (17年4月～9月)	備考
		17年度	18年度		
(6)人材の育成	能力向上を図る研修及び資格取得の奨励/研修参加者による内部研修の実施	参加研修会、資格取得対象・科目の選定/資格試験受験	資格試験受験/研修会参加者による内部研修会実施	・融資事務を含む事務レベル向上のための各種研修会及び資格取得に取組む。	研修会 : 14回 参加者数: 109名 合格者数: 5名
<b>2. 経営力の強化</b>					
(1)リスク管理態勢の充実	ALM システム実用水準稼働を目指す/各種システム開発・改修	ALM 試行稼働/各種システム改修・導入準備作業及び移行作業実施	各種システム検証と問題点改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALM システムの試行稼働と結果分析により「流動性ギャップ」ならびに「金利ギャップ」などのギャップ分析に必要な帳票について過去実績と対比・検討する事により実用水準での検討をした。</li> <li>自己査定システムのパーゼル 対応のための改修については現行システムの開発先に対して問題提起をおこない 18 年度上半期までに試行段階の開発を終えた。</li> <li>不動産担保評価のシステムの導入について準備作業を行い、17 年度下半期から一斉に入力を開始した。</li> </ul>	
(2)収益管理態勢の整備と収益力の向上	ALM システム活用/収益管理体制の整備策の実施/管理会計学習・周知	ALM システム活用しシミュレーション実施/管理会計実施/リスク対応融資金利・格付け検討実施/収益管理体制再検討	ALM システム活用しシミュレーション実施/管理会計実施/信用リスク対応融資金利・格付け検討実施/収益管理体制再検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALM システムの試行稼働と結果分析の継続。</li> <li>シミュレーション結果と実績値を対比分析する事による各種パラメータ候補の決定のための作業とシステム内容の習得作業・学習作業を継続。</li> <li>SKC-ALM におけるギャップ分析、流動性リスクの分析帳票について「過去実績」を出力し実用となる事の確認作業を行った。</li> <li>月次決算による店舗別損益に基づき「減損会計」におけるキャッシュフローの把握のための参考資料とすべくその内容についての検討を実施し収益把握水準の向上を図るための取組とした。</li> <li>利率水準は、現状を踏まえ、全体的に改善を図った。</li> <li>信用リスク・格付に応じた金利設定については組合の現状を踏まえて検討をおこなう事とした。</li> </ul>	

項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況 (17年4月～9月)	備考
		17年度	18年度		
(3)ガバナンスの強化	半期開示の開示内容充 実検討 / 毎期組合員集 会等を開催し意見集約、 反映 / ディスクロージ ャー誌を年度経過後 4 ヶ月以内開示の準備	半期開示の準備 / 各店 舗組合員集会開催 / アン ケート調査実施	早期にディスクロージ ャー誌開示 / 半期開示 準備 / 各店舗組合員集 会開催	平成 16 年 9 月期と同水準での半期開示準備 2005 年 11 月 30 日付開示	
(4)法令等遵守(コンプライ アンス)態勢の強化	コンプライアンス体勢 強化 / 資格取得	コンプライアンスプロ グラム制定 / 検査実施 / 研修会等実施 / 諸規 程制定・改定 / 資格取得 / 情報システム監視強 化	コンプライアンスプロ グラム制定 / 検査実施 / 研修会等実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2005 年度コンプライアンス・プログラムの 制定。</li> <li>・臨店検査実施。</li> <li>・個人情報保護法関連諸規程の制定、懲罰規 程の賞罰規程への改定をはじめとする諸規程 の制定・改定。</li> <li>・コンプライアンス担当者会議・研修会開催。</li> <li>・コンプライアンス・オフィサー認定試験の 受験。</li> <li>・個人データの漏洩・毀損等防止策、アクセ スの記録及び分析、情報システムの稼働状況 の記録及び分析、情報システムの監視ができ るシステムの導入。</li> </ul>	
(5)IT の戦略的活用	システム利用環境改善 / グループウェア活用 / 「しんくみあのネッ ト」活用	システム利用環境改善 取組 / IT による改善効 果の高い業務洗出し作 業実施 / 「しんくみあの ネット」活用策の周知	システム利用環境改善 取組 / IT による改善効 果の高い業務洗出し作 業実施 / 「しんくみあの ネット」活用策の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キャッシュフロー計算書作成ソフト」、「不 動産担保評価システム」の導入により事務の 合理化を実施</li> <li>・社内ネットワーク回線を IP-VPN 網に切替 る事でセキュリティを向上しつつスピードと ランニングコストを同時に削減する策を実 現。</li> <li>・本支店間のファイル授受等の必要ファイル について必要部署・店舗担当者間での共有の 実用化</li> <li>・必要なパソコンへの監視ソフトの導入によ る個人情報保護法対応のための取組の実施・ 継続</li> <li>・「しんくみあのネット」の活用策の検討の実 施</li> </ul>	
(6)協同組織中央協会の機 能強化	全国信用組合中央協会、 全国信用協同組合連合 会との連携を強化し、市 場リスクや収益性確保 に取組んで行く	共同組織中央機関との 連携強化	共同組織中央機関との 連携強化		

項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況 (17年4月～9月)	備考
		17年度	18年度		
<b>3. 地域の利用者の利便性向上</b>					
(1) 地域貢献等に関する情報開示	充実した情報開示提供 / ホームページの拡充 / ディスクロージャー誌の開示情報充実	ディスクロージャー誌開示内容検討し実施 / ホームページの拡充	ディスクロージャー誌開示内容検討し実施 / ホームページの拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当組合が取り組む地域貢献活動についてディスクロージャー誌に画像などを用いる為の準備作業として撮影作業実施。</li> <li>・利用者からの質問が少ない為、信用組合に対する一般的なQ &amp; A等を作成し、ホームページに公表する準備実施。</li> </ul>	
(3) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	アンケート調査実施 / 調査結果分析し経営に反映	アンケート内容を検討し実施 / 顧客に対する情報収集実施 / 調査結果を経営方針に反映させる	アンケート内容を検討し実施 / 顧客に対する情報収集実施 / 調査結果を経営方針に反映させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査内容の検討開始 - 店頭においての対応、渉外による対応についての質問を作成、その他の項目について引き続き検討中</li> <li>・アンケート実施方法の検討 - 配布・回収方法、集計方法</li> </ul>	
(4) 地域再生推進のための各種施策との連携等地域と一体となった取組の推進	地域行事に参加し、地域活性化に向けた取組を推進する	行事等参加 / 行事の協賛、支援を行う / チャリティー行事に参加 / 各種団体等と連携 / ホームページで情報発信 / 施設等の貸出等を行う。	行事等参加 / 行事の協賛、支援を行う / チャリティー行事に参加 / 各種団体等と連携 / ホームページで情報発信 / 施設等の貸出等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域同胞との交流を深めるため、4月～5月に行われた同胞野遊会に積極的に参加。(岐阜、静岡、三重、愛知地域)</li> <li>・地域の皆様とのふれあいを大切にするため、福井支店では町内夏祭りに模擬店を出店。</li> <li>・民族学校初級部サッカー中央大会においてボランティア活動を行う。</li> <li>・文化教室の一環として行われた、後援会の料理教室に協力。</li> </ul>	
<b>4. 進捗状況の公表</b>					
進捗状況の公表	半期毎に進捗状況をホームページ等で開示	半期毎に進捗状況をホームページ等で開示	半期毎に進捗状況をホームページ等で開示		